

【B年】

大斎節第三主日

全能の神よ、どうかあなたを呼び求める僕らの願いを心に留め、力あるみ手を差し延べてすべての敵を防いでください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は出エジプト記第二十章一節から」

- 1 神はこれらすべての言葉を告げられた。
- 2 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隸の家から導き出した神である。
- 3 あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない。
- 4 あなたはいかなる像も造つてはならない。上は天にあり、

下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるもの形も造つてはならない。5 あなたはそれらに向かつてひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、6 わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。

7 あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。みだりにその名を唱える者を主は罰せずにはおかれぬ。

8 安息日を心に留め、これを聖別せよ。9 六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、10 七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隸も、家畜も、あなたの町の門の中に寄留する人々も同様である。11 六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである。

12 あなたの父母を敬え。そうすればあなたは、あなたの神、主と与えられる土地に長く生きることができぬ。

- 13 殺してはならない。
- 14 姦淫してはならない。
- 15 盗んではならない。
- 16 隣人に関して偽証してはならない。
- 17 隣人の家を欲してはならない。隣人の妻、男女の奴隸、牛、ろばなど隣人のものを一切欲してはならない。」

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱えます。

第十九編 七十四節

- 7 主の教えは完全で、魂を生き返らせ＝ 主の諭しは変
わらず、心に知恵を与える
- 8 主の定めは正しく、心を喜ばせ＝ 主のみ旨は清く、目
を開く
- 9 主の言葉は混じりけなくとこしえに続き＝ 主の審きは
真実ですべて正しい
- 10 金よりもどんな純金よりもすばらしく＝ 蜜よりも、蜂
の巣のしたたりよりも甘い
- 11 あなたの僕はこれに教えられ＝ それを守って大きな
報いを受ける
- 12 だれが自分の過ちを悟り得よう＝ 知らずに犯した過
ちから清めてください
- 13 あなたの僕をおごりから引き離し、その支配に陥らぬ
ようにしてください＝ わたしが汚れることなく、大き
なごを避けることができますように
- 14 主よ、わたしの岩、わたしの贖い主＝ わたしの言葉

朗読者 「思いがみ心にかないますように」

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第七章十三節か

191

13 それでは、善いものがわたしにとって死をもたらすもの
となつたのだらうか。決してそうではない。実は、罪がその
正体を現すために、善いものを通してわたしに死をもたら
したのです。このようにして、罪は限りなく邪悪なものであ
ることが、掟を通して示されたのでした。14 わたしたちは、
律法が霊的なものであると知っています。しかし、わたしは肉
の人であり、罪に売り渡されています。15 わたしは、自分の
していることが分かりません。自分が望むことは実行せず、
かえって憎んでいることをするからです。16 もし、望まない
ことを行っているとするれば、律法を善いものとして認めて
いるわけになります。17 そして、そういうことを行っている
のは、もはやわたしではなく、わたしの中に住んでいる罪な
のです。18 わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善
が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志
はありますが、それを実行できないからです。19 わたしは自分
の望む善は行わず、望まない悪を行っている。20 もし、わ
たしが望まないことをしているとすれば、それをして

は、もはやわたしではなく、わたしのの中に住んでいる罪な
です。21それで、善をなそうと思う自分には、いつも悪が付
きまどつているという法則に気づきます。22「内なる人」と
しては神の律法を喜んでいますが、23わたしの五体にはもう
一つの法則があつて心の法則と戦い、わたしを、五体の内
にある罪の法則のとりこにしているのが分かります。24わた
しはなんと惨めな人間なのでしよう。死に定められたこの体
から、だれがわたしを救ってくれるでしようか。25わたし
ちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。この
ように、わたし自身は心では神の律法に仕えていますが、肉
では罪の法則に仕えているのです。

朗読者 「使徒書を終わります」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ヨハネによる福音書第二十章十三節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

13ユダヤ人の過越祭が近づいたので、イエスはエルサレム
へ上つて行かれた。14そして、神殿の境内で牛や羊や鳩を売つ
ている者たちと、座つて両替をしている者たちを御覧になつ
た。15イエスは縄で鞭を作り、羊や牛をすべて境内から追い出
し、両替人の金をまき散らし、その台を倒し、16鳩を売る者
たちに言われた。「このような物はここから運び出せ。わた
しの父の家を商売の家としてはならない。」17弟子たちは、「あ
なたの家を思う熱意がわたしを食い尽くす」と書いてあるの
を思い出した。18ユダヤ人たちはイエスに、「あなたは、こ
んなことをするからには、どんなしるしをわたしたちに見せ
るつもりか」と言つた。19イエスは答えて言われた。「この神殿
を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」20それでユダヤ人
たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、
あなたは三日で建て直すのか」と言つた。21イエスの言われ
る神殿とは、御自分の体のことだったのである。22イエスが
死者の中から復活されたとき、弟子たちは、イエスがこう言
われたのを思い出し、聖書とイエスの語られた言葉とを信じ
た。

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」